

睡眠中の赤ちゃんの死亡を減らしましょう！ 11月は「乳幼児突然死症候群(SIDS)」対策強化月間です

●乳幼児突然死症候群（SIDS）とはどんな病気？

乳幼児突然死症候群（SIDS：Sudden Infant Death Syndrome）は、それまで元気だった赤ちゃんが、事故や窒息ではなく眠っている間に突然死亡してしまう原因不明の病気です。

1歳未満児で、特に生後2か月から6か月の赤ちゃんに多く、毎年100人を超える赤ちゃんが亡くなっています。（死亡原因 第3位）

●SIDSから赤ちゃんを守るためのポイント

SIDSの予防方法は、まだ確立していません。しかし、以下の3つのポイントを守ることで、発症の可能性を低くすることがこれまでの研究で明らかになっています。



・1歳になるまではあおむけに寝かせましょう！

SIDSは、うつぶせ、あおむけのどちらでも発症していますが、うつぶせに寝かせたときのほうがSIDSの発症率が高いことが分かっています。

なるべく赤ちゃんの顔が見えるあおむけに寝かせましょう。

寝かせ方に配慮することは、SIDSの危険を減らすだけでなく、赤ちゃんを窒息や誤飲、怪我などの事故から守ることにもなります。



・母乳育児にトライしましょう！

母乳で育てられている赤ちゃんのほうがSIDSの発症率が低いことが分かっています。人工乳がSIDSを引き起こすわけではありません。できるだけ母乳で育てましょう。



・たばこをやめましょう！

たばこはSIDS発生の大きな危険因子とみられています。妊婦自身の喫煙はもちろん、妊婦や赤ちゃんのそばでの喫煙はやめましょう。日ごろから身近な人たちにも理解と協力を求めましょう。

SIDSは、12月以降の寒い季節に発生しやすいといわれ、特に注意が必要です。

SIDSから赤ちゃんを守るため、お母さんやお父さんだけでなく、赤ちゃんの身近にいるすべての人が、SIDSについて理解を深め、協力することが大切です。

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/sids.html>（厚生労働省「SIDSについて」）

有料広告掲載欄

透明マウスピース矯正

※自由診療です。約50万円程度

- ・透明だから目立ちにくい
- ・取り外しができる
- ・普段通りに歯磨きができる
- ・治療開始から完了まで歯並びの変化がわかる



しょうきょうせい

床矯正

※自由診療です。
片顎
約10万円程度

- 歯を抜かなくてもOK!
※症状・ご要望により抜歯せざるを得ない場合もあります。
- 自分で取り外し可能で歯磨きが楽

歯科衛生士募集

詳しくは下記TELまで

無料矯正相談受付中



院長/原田 聡

桑名はらだ歯科クリニック ☎0594-27-5454

桑名市新西方7-22イオンタウン桑名新西方内 ●休診 水曜・祝日

土日も診療

※9:00~14:00

診療日	月	火	水	木	金	土	日
9:30~14:00	●	●	X	●	●	●	●
15:30~19:00	●	X	X	●	●	X	X